

* このシートの使い方 *

ホームページで公開している動画「Web 展示室Ⅷ 芹沢銈介 本と文字
デザイン／芹沢コレクションのタバクロス」を見ながら、次の2つの設問
を解いてみよう！どちらの作品も動画の中に登場しています。

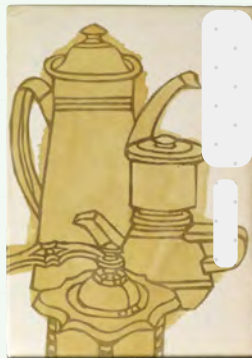


1

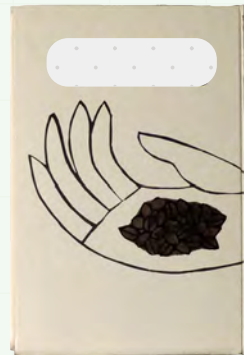
これは、芹沢銈介がブックデザイン（装幀）を担当した本です。の部分には
A. 本の書名（タイトル）や B. 著者の名前が配置されています。さて、A. と B. に
入る文字（書名と著者）は？動画から見つけてみよう！

ヒント1

なにかの道具が3つ……。
これも本の名前とふか〜い
つながりがあるみたい！



※左側は本を収める箱（函）です



ヒント2

手のひらに乗っているのは
なんだろう……？

A. 書名

B. 著者

2

芹沢銈介による着物の作品です。この着物には生地を
覆いつくすように“ある模様”が染められています。
それは、次のA～Cのうちどれでしょうか？

A. 幾何学 B. 植物 C. 文字



着物の模様は

答えは次のページへ➡

1

A. 書名 **可否道**

B. 著者 **獅子文六**

昭和の人気作家・獅子文六（しし・ぶんろく）の
小説『可否道』（1963年 新潮社）で、芹沢銈介は
ブックデザインを手がけました。力強く洗練された文字が目を引きま
す。それにしても、可否道...カヒドウ?...ってなんのことでしょう？



ブックデザインとタイトルが
変更されましたが、文庫本
『コーヒーと恋愛』（筑摩書房）
で今も読むことができます。

答えはブックデザインに！

本を収める函の表紙にはポット、コーヒーメーカー、豆を挽くためのミルと並び、本の表紙
には片手にのせたコーヒー豆...。もうお分かりですね？「可否」は「コーヒー」の音を漢字
に当てた表記（当て字）です。“コーヒー道”という小説のタイトルそのままに、本の
デザインもまさにコーヒー尽くしなのでした。

2

着物の模様は **C. 文字**

遠くから見ると植物模様にも見えますが、その曲線の
美しさは文字の丸みからきています。この作品の題材
はいろは歌で、かな文字 47 字を 8 色で染め分けてい
ます。

かな文字は「いろは・にほへ・とちり」と 3 文字ずつ
改行されていて、文字の上下も変えながら複雑に組み
合わされています。



芹沢銈介作《いろは文着物》部分
縮緬 型絵染 1954 年制作

*** いろは歌ってどんな歌？ ***

いろはにほへと ちりぬるを わかよたれそ つねならむ うるのおくやま けふこえて あさきゆめみし ゑひもせす

〔 いろはにほへと ちりぬるを わかよたれそ つねならむ うるのおくやま けふこえて あさきゆめみし ゑひもせす 〕

仮名文字 47 字をつかった七五調の歌で、平安時代に詠まれたものです。この着物にはひらがなの歌が模様としてデザインされています。